

日本漢方協会通信

26年 6月

国際標準規格ISOについて、 TC249で伝統医学中国医学を取り上げている

Technical Committee (以下TCと記す)の議題としてTC1はネジの国際標準から始まった。TC249でTraditional Chinese Medicine (仮題)をとりあげた。その中は5のワーキング(以下Wと記す)に分担している。

W1は原材料及び伝統的加工の品質及び安全性

W2は工業的製品の品質及び安全性

W3は鍼灸鍼の品質及び安全性

W4は鍼灸鍼以外の医療機器の品質と安全性

W5は情報科学

この総会が2010年中国 北京、2011年オランダ ハーグ、2012年韓国 大田、2013年南アフリカで開かれている。この5月に日本の京都で行われる予定になっている。(この通信が配られる頃には終わっていると思います)

鳥居塚和生(昭和大)新井一郎(日本薬科)赤瀬朋秀(日本経済大)金俊成(横浜薬科)亀井美和子(日大)清水真知(薬剤師と地域薬局活動ネットワーク)(薬剤師としては唯一)が参加予定になっている。

この国際標準規格には

厚生労働省 経済産業省

JLOM 日本東洋医学サミット会議

日本東洋医学会 全日本鍼灸学会 日本

生薬学会 和漢医薬学会 北里大学

富山大学

アソシエイトメンバーとして

医学中央雑誌刊行会 日本漢方医学研究所

サポーターとして

日本漢方生薬製剤協会 日本理学療法機器工業会が関与していますが、薬剤

師会としては呼びかけに応じていません。

ISOの決定までには、①議案の提出②新作業項目の提案③作業原案の作成④委員会原案⑤国際規格原案⑥最終国際規格案の策定⑦国際規格の発行という手順をふみ、段階ごとに投票で決定してゆく。

議題であるTCM (Traditional Chinese Medicine)については、日本と韓国は中国案に反対している。しかし、TC249の参加メンバーのうちアフリカ諸国は、中医薬の輸入国、ヨーロッパ諸国は代表が華僑でしめられていて投票では、不利な立場となっている。

中国としては、経済的世界進出の足がかりとして、制定を急いでいるのとおもわれる。製品を輸入している諸国からは、粗悪な製品から国民を守るためにも規格が必要ということになる。

例として 現在進行中の、エンジンの国際標準規格にアメリカエンジンまでも含まれている。そうなると日本薬局方エンジンの規格が不明確になってしまう。中国は中国製品で使われている代用品までも含んだものを押しつけてきていると考えられる。

【注】 JLOM

Japan Lissison of Oriental Medicine 日

本東洋医学サミット会議

日本東洋医学会 全日本鍼灸学会 日本

生薬学会 和漢薬医学会の4学会と

WHO研究協力センターの北里大学東

洋医学総合研究所・富山大学和漢診療

学が連合した機関で、単一の学会では

責任がとれないような問題に対処する

ことを目的としている。三上正利記